

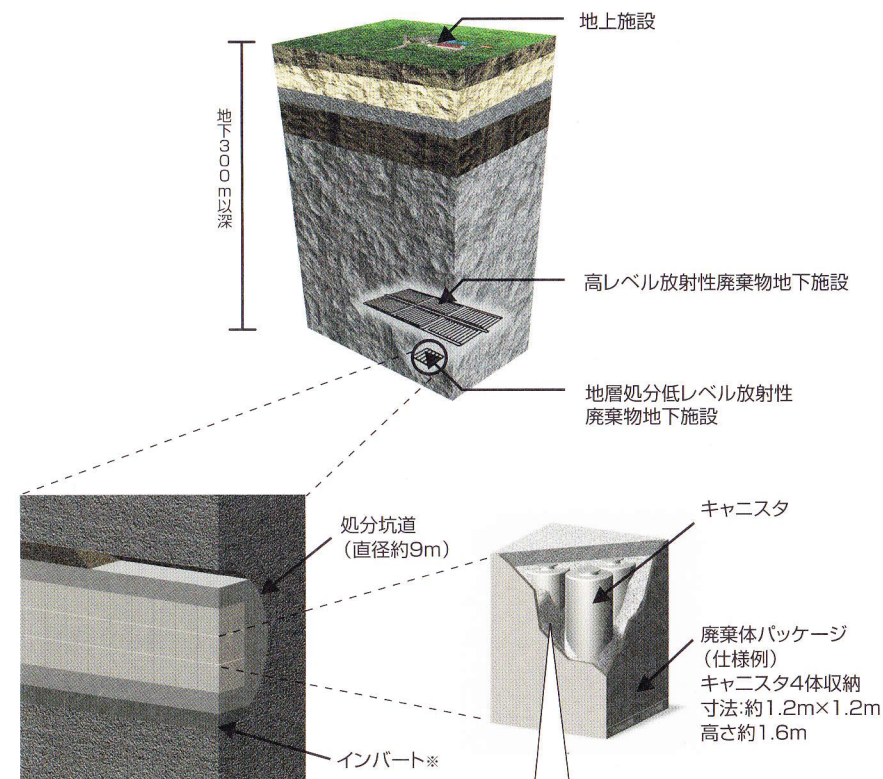
? 充填材の役割は何か。

廃棄体パッケージの中でキャニスタを固定するとともに放射性物質を吸着しその移動を遅くします。

地層処分低レベル放射性廃棄物のうち、ハルやエンドピースはガラス固化体の容器と同様なキャニスタに封入された状態で処分場に搬入されます。このキャニスタを4体ずつ廃棄体パッケージに入れ、充填材で固定します。また、廃棄体パッケージを処分坑道に定置した後、廃棄体パッケージ同士や廃棄体パッケージと処分施設の構造体との隙間を埋めるためにも充填材が使われます。

セメント系の充填材には、放射性物質を吸着する働きがあるため、充填材の長期間の役割として、将来、放射性物質がキャニスタから漏れ出したとしても、放射性物質を吸着し動きを遅くする働きが期待されます。

さらに、廃棄物の輸送の際に、容器が固定されていることも重要で、廃棄体パッケージの中でキャニスタを固定する役割も充填材にはあります(➡20)。



この図はハル・エンドピースの例です

※インバート:コンクリートなどにより構築される坑道の底盤

充填材

廃棄物を封入したキャニスタは、金属製などの箱に入れられ、充填材で隙間を埋め、動かないように固定されます。充填材は放射性物質を吸着してその移動を遅くする働きをします。充填材としてセメント系材料を用います。